

かわねほんちょう 議会だより

第38号

平成27年5月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会だより
編集委員会



つつみ遊園地の枝垂桜（小長井）

* も く じ *

- ◎平成27年度町の予算が決まりました 2～ 3
 - 予算特別委員会・第1常任委員会報告 4～ 6
 - 議会で決まったこと（2月臨時会・3月定例会） 7～ 8
- ◎一般質問 ～4人の議員が町政を問う～ 9～12
 - 議会活動の報告（学校訪問・企業訪問） 13
 - 議会日誌・編集後記・6月議会日程 14

注目!!

- ◎県内で2例目 高校卒業まで入院・通院費無料
- ◎介護待機者を無くす 「あかいしの郷」30床の増床 用地の無償貸与
- ◎自分らしく生きがいを持って グループホームの建設支援

◆ 主要事業の内訳 ◆

子育て支援事業

豊かな自然に抱かれて かがやく未来
～わくわく共に育てよう川根本町のこどもたち～

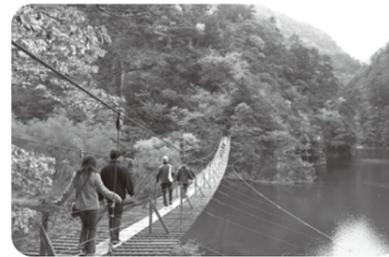
- ◎放課後子ども総合プラン推進事業 12,571千円
放課後子ども教室の運営（南部・中央・第一・本川根小）
放課後児童クラブ運営（3年生→6年生まで対象）
- ◎医療費助成事業 21,636千円
こども医療費助成事業
（0歳児～高校3年生相当まで入院・通院医療費助成ほか）



地域活性化対策

地域資源（人・自然・歴史・文化等）を生かしたまちづくり

- ◎情報政策の推進 54,545千円
町内に整備した高度情報基盤の運用と有効活用
- ◎エコツーリズム推進事業 4,398千円
多彩な地域資源を活かしたエコツーリズムなどによる交流人口の拡大
- ◎ユネスコエコパーク推進事業 9,918千円
南アルプスユネスコエコパークに認定された豊かな自然と文化を守り、共生するために、積極的な活動を進める。



地域間交流の促進

ユネスコエコパークに認定された豊かな美しい自然、いやしの温泉
やお茶の香り、SLやアプト式鉄道など多様な地域資源を有する
当町の素晴らしさを様々な交流により、町内外に発信していく

- ◎中学生海外英語研修 7,730千円
グローバルな視野を持った人材の育成
- ◎SLフェスタ事業 3,500千円
SLを柱とした観光振興
- ◎移住・定住促進事業 2,709千円
空き家改修費の補助、空き家バンク、田舎暮らし体験事業



高齢者支援事業

「元気な高齢者が多いまち」の実現に向けて健康寿命の延伸を
図るため、様々な事業を展開する

- ◎緊急通報システムサービス事業 4,694千円
ひとり暮らし老人宅等に緊急情報整備して安心の向上を図る
- ◎外出支援サービス事業 31,083千円
高齢者等の交通弱者に対し、登録制有償移送サービスを提供し利便性を図る
- ◎在宅高齢者配食サービス事業 9,487千円
登録者へ1日1食、週4食を限度に、昼食又は夕食のお弁当を配達し、高齢者等の食生活の改善を図る。



平成27年3月
定例会
3月3日～18日

平成27年度一般会計予算
前年度比16.0%（12億3400万円）の減

64億6100万円

少子高齢化対策 地域資源を生かした町づくりに重点

今定例会では、条例改正4件、廃止1件、条例の制定（保育所条例外5件）や、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算、工事の変更契約の締結など提出された25議案は全て原案通り可決されました。また、大橋慶士氏を教育長に任命する人事案件についても議員全員が同意しました。

3月議会は予算議会です。町長の施策等が反映されている平成27年度の予算を審議するための議会であり、平成27年度一般会計及び各特別会計予算は、予算特別委員会で慎重に審議され、最終日（18日）に原案通り可決されました。（議案別の審議結果は8頁の「議案審議の結果」を御覧ください。）一般質問では、4人の議員が町の対応や考えを問いただきました。



町の鳥「ヤマセミ」

地名の平で稲刈り体験

紅葉カヌーツーリング in 接岨湖

町の花「シロヤシオ」

大札山のアカヤシオ

平成27年度の予算総額92億5290万円

予算特別委員会の審査状況を報告します

審査日 3月5日～12日



傍聴する千葉県・淑徳大学の皆さん(3月3日)

3月定例会初日(3日)に予算特別委員会(委員長鈴木多津枝・副委員長中澤壯也議員)付託とした「平成27年度川根本町予算」は、5日～12日まで担当課別に審査を行いました。12日には、現地調査の後採決を行い、7件の予算全てを原案通り可決しました。主な内容を抜粋して報告します。

一般会計

総務課関係 高齢化等により各区の存続が危ぶまれる。区再編を町はどのように考えているのか。行政主導の再編でなく、区の合意形成が出来てから協議すべきと考えている。

北部地区のデジタル防災行政無線工事費 2億5千万円は。南部地区は県と共同で整備したので町負担は工事費2千万円と備品購入8500万円だったが北部地区は町で整備する。現在百合久保にある中継局と無線施設を桑野山に新設する。無線機など6300万円

企画課関係

ふるさと納税贈答品は町の活性化につながる魅力あるものを。27年度は10万円以上に茶・急須入り茶箱セット(1万3千円程)を考えている。2年がかりで立派なレールパーク構想ができたが、どのように実践するのか。構想を基に総合計画と一緒にワークショップを開き、情報を共有しながら進める。大井川の清流を守る研究協議会で田代ダム水利権更新の協議を。27年12月の水利権更新に向け、流域市町の意見を取りまとめ、県へ要望する。塩

郷・川口の更新も控えている。かわねフォンの町負担金を含め年間の運営経費は。2800台の月800円で2900万円、行政放送委託料月60万円で約778万円。その他は後で出す。かわねフォンを申し込んでいない人への情報伝達は。同報が聞きにくいところではない。メール配信も考えている。マイナンバー制度導入に伴うシステム改修費が各所にあるが、個人情報漏洩や不正利用など大丈夫か。国の制度でセキュリティはしっかりしている。

福祉課関係 放課後児童クラブの委託料増は。3年生までを6年生までに広げるため。

生活健康課関係 高卒までの医療費無料、大いにPRを。県内他市町はどうか。現在、入院・通院とも無料は

西伊豆町のみ。訪問看護ステーションの設置の見込みは。公設公営であるいやしの里診療所に付属の「みなし訪問看護」の開設に向け、その準備アドバイザー兼訪問看護師の賃金を上げた。公設公営で始める予定であり、他の医療機関からの要望にも対応できる。

産業課関係 青年就農給付金は。1人年間150万円が国から給付される。準備型は2年で今回の経営開始は最長5年間。2人分計上した。2900万円が国から購入する桑野山貯木場の製材機能は。面積1町歩弱、事務所、木工加工所、倉庫など十数棟ある。旧本川根町時代、千頭駅横に音戯の郷を建設するために町が1億8千万円で整備した営林署貯木場の移転代替え施設。集材・流通の中



町が購入予定の千頭貯木場(桑野山地区)

特別会計

国民健康保険事業 一般会計のその他の繰入を基金に積むが値上げ回避に充てるよう前向きな検討を。急激な医療費の増加に備え基金を確保する。26年は医療費が下がったが税は6月の本算定で決まる。

介護保険事業 基準額で月1240円の保険料値上げは、年金生活の高齢者には耐えられない。特養増設などサービス充実が保険料値上げに連動しないよう一般会計からの繰入で安心して老後を過ごせるようにすべき。保険料を抑制したい。

簡易水道会計 事業者の技術力、作業員の高齢化、工事繰越、入札など問題だ。水道だけでは入札ミスなど地元業者の甘い考

えが感じられる。1カ月の指名停止にし、嚴重注意した。繰越が多く申し訳ない。早期発注に努力する。

温泉事業会計 千頭温泉湯量回復修繕は。スカム(※)が多くポンプ湯管が詰まる可能性が高いので年1～2回のメンテナンスが必要。

反対!! 鈴木多津枝議員 **一般** 27年度一般会計予算。個人情報漏洩や不正使用などが指摘されているマイナンバー導入や集団的自衛権行使容認で自衛隊を戦争に参加させ若者の命の保障もなくなる自衛隊員募集に協力していること、地区コミュニティの拠点である集会所の修繕費負担金を相変わらず徴収していることが反対の大きな理由。前進した面も多いが、国に町民を守る声も上げず国言いな

賛成!! 小藪侃一郎議員 **一般** 平成27年度予算は川根本町教育ビジョンの推進や山村開発センターの修繕、各学校の体育館のつり天井落下防止等避難施設整備費、町営貯木場関連費、青年就農給付金、経営支援補助金、合併10周年企画等予算で農林観光にも配慮し、まちづくりの寄与するメリハリのある予算であると考え賛成します。

現地調査視察箇所

- ①国道362号馬路橋トネル先開設工事現場視察(建設課)
- ②町文化財保管・作業状況視察(本川根中学校資料室・生涯学習課)
- ③千頭貯木場代替施設(桑野山・産業課)
- ④東海ブロードバンド(株)事務所(千頭・企画課)
- ⑤文化財収納室(総合支所・生涯学習課)
- ⑥林道水川線崩落土現場(水川・建設課)

※源泉から浮上した固形物や油脂分の集まったもの。

介護保険 65才以上の高齢者に大幅な保険料値上げを求める予算。国の言いなり、住民負担に賛成できない。

介護保険 27年から29年度までに特別養護老人ホーム等の施設の充実、30床増設の計画もあります。介護が必要な方にサービスを提供し安心して生活できるようにみんなで支え合う。適切な予算と考える賛成とします。



水川林道の崩落現場

で積極的に活用している。音戯の郷の喫茶軽食コーナーは。賃貸料月2万円。入館者増につながっている。茶茗館で飲食提供や芝生への遊具設置を。飲食提供の必要性は高い。遊具設置も含め「施設のあり方」の中で検討したい。

教育委員会関係 文化会館のイベントに高齢者の送迎を。検討する。中学2年生の海外英語研修は体験意義大きい。全員参加できるように自己負担見直しを。全体的に検討する。

備品購入もある。納税贈答品は町の活性化につながる魅力あるものを。27年度は10万円以上に茶・急須入り茶箱セット(1万3千円程)を考えている。2年がかりで立派なレールパーク構想ができたが、どのように実践するのか。構想を基に総合計画と一緒にワークショップを開き、情報を共有しながら進める。大井川の清流を守る研究協議会で田代ダム水利権更新の協議を。27年12月の水利権更新に向け、流域市町の意見を取りまとめ、県へ要望する。塩

～ 第一常任委員会の審査報告 ～

委員会審査の結果、 全員賛成で4議案を可決



夜遅くまで行われた委員会(3月3日)

3月議会初日に第一常任委員会(委員長鈴木、副委員長太田)に付託された介護保険に関する議案4件について、同日午後5時半～7時半まで審査しました。

審査は福祉課長と職員との説明を受けた後、質疑・回答・採決を行いました。委員長の保

険料値上げ反対の意見もありましたが、4議案とも委員全員賛成で原案通り可決しました。

議案第10号「川根本町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定」についてと、議案第11号「川根本町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準等を定める条例の制定」については、25年

6月に成立した第3次一括法により、これまで全国一律に定めていた「介護予防支援等の人員基準や運営基準等」と「地域包括支援センターの包括的支援事業の実施基準」を市町村の条例で定めることとなったものです。

審査では、
①規則で定めるとして
いる町独自の基準とは
②包括支援センターの
人員基準はクリアーで
きているか
③知識を有する職員と
は何か
などの質問が出され、

①事業所の管理者は、
暴力団であつてはなら
ない。利用者に対する
記録の整備や保管の義
務などを考えている。
②保健師、社会福祉士、
主任介護支援専門員の
3職種で、当町は十分
満たしている。
③地域ケア・地域保健
等に関する経験のある

看護師である。
などの回答がありまし
た。
議案第12号「地域に
おける医療及び介護の
総合的な確保を推進す
るための関係法律の整
備等に関する法律附則
第14条に規定する経過
措置に関する条例」の
制定については、

①在宅医療と介護の連
携は平成30年4月から
実施になってきているが、
8項目ある事業全てを
実施できるのか
②医師の確保が難しい
が対応は

①在宅医療と介護の連
携は平成30年4月から
実施になってきているが、
8項目ある事業全てを
実施できるのか
②医師の確保が難しい
が対応は



お年寄りが元気に安心して暮らせるために...

③介護保険制度から外
される要支援1・2の
人は
などの質問があり、
①全てを同時に実施し
なければならぬわけ
ではなく、出来る項目
から随時実施する。
②各医療機関や榛原医
師会等と連携を取って
いくことが必要。

ホームの増設で給付費
が増えるのを見込んだ
ため保険料が大きく上
がったというが、一般
会計から繰入をして値
上げの心配なく安心し
て介護を受けられるよ
うにすべきではないか
④介護保険部会で月1
240円もの値上がり
に対して意見は出な
かったのか
との質問があり、

③当町は平成28年4月
1日から行う。町の事
業として取り組むが、
介護保険と同じ財源更
正となる。
などの回答がありまし
た。

①10%になった場合は、
低所得者対策として住
民税非課税世帯の負担
軽減が行なわれる予定。
②約3700万円増え
た。
③保険制度の負担割合
の中でやらせていただ
く。
④特養増床など施設の
充実もあり、保険料の
上昇に対するご理解は
いただいたと考えてい
る。
などの回答がありまし
た。

議案第18号「川根本
町介護保険条例の一部
を改正する条例」では、
①消費税率が10%にな
ればどうなるのか
②65才以上と現役世代
の保険料の負担割合を
21対29から22対28にし
たことで、当町では65
才以上の保険料がいく
ら増えるのか
③特養増設やグループ

議案第18号「川根本
町介護保険条例の一部
を改正する条例」では、
①消費税率が10%にな
ればどうなるのか
②65才以上と現役世代
の保険料の負担割合を
21対29から22対28にし
たことで、当町では65
才以上の保険料がいく
ら増えるのか
③特養増設やグループ

3月定例会で決まったことを報告します!

平成27年第1回定例会が3月3日から18日までの16日間の会期で開催されました。
27年度の当初予算のほか、国の法改正に伴う条例制定・改正議案や補正予算案など、町長から提出された25議案は全て、原案通り可決されました。

条例関係

3月3日に決まったこと

- ◎保育所条例の制定
- ◎川根本町保育の実施に関する条例を廃止する条例

…全員賛成で可決
いずれも本年4月から実施される「子ども子育て支援新制度」に関わる条例整備です。

- ◎教育長の勤務時間等に関する条例制定
- ◎教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定

…全員賛成で可決
◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係条例整備等に関する条例について

…全員賛成で可決
いずれも「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正で、教育委員会の代表者が教育委員長から教育長となるための条例制定と関係条例改正

4月1日から運行区間とダイヤが改正された町営バス



…全員賛成で可決
◎町営バス条例の一部改正

…全員賛成で可決
本年4月1日から、町営バス利用者の減少に伴い「下泉・地名線」「下泉・文沢線」を廃止するとともに、幹線部分となる小井平・久野協間の運行回数が1日6往復から8往復に増便されます。

…全員賛成で可決
◎行政手続条例の一部改正

補正予算関係

◎一般会計補正予算(第10号)

…全員賛成で可決
補正後の総額

82億4千755万6千円(1億6千303万7千円の減額)

事業実績に伴う人件費、委託料、工事請負費、補助金の増減等が主なものです。

◎介護保険事業特別会計補正予算(3号)

…賛成多数で可決
補正後の総額

12億6千838万円(297万円の増額)

介護報酬の改定による介護システム改修経費の追加前年度の事業実績に基づく国・県支出金、の清算に伴う返還金が主なものです。

◎いやしの里診療所事業特別会計補正予算(3号)

…全員賛成で可決
補正後の総額

4千273万円(350万2千円の減額)

実績による運営委員報酬、臨時職員賃金、医師募集広告料の減額によるものです。

工事請負契約

◎工事請負変更契約の締結(施業道ヒラト線開設工事)

…全員賛成で可決

3月18日に決まったこと

条例関係

◎川根本町介護保険条例の一部改正

…賛成多数で可決
3年ごとの介護保険事業計画の見直しによる保険料の改定です。

◎町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定

…全員賛成で可決

◎町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準等を定める条例の制定

◎地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律附則第14条に規定する経過措置に関する条例の制定

補正予算関係

◎一般会計補正予算(第11号)

…賛成多数で可決
補正後の総額

80億9千145万3千円(1億5千610万3千円の減額)

高度情報基盤整備工事の実績や工事内容の変更に伴う事業費の減額等が主なものです。

工事請負契約

◎工事請負変更契約の締結(高度情報基盤整備工事)

議会をもっと身近に…

テレビ会議システムで 本会議を中継中！

本会議の様子が、総合支所のロビーで視聴できます。 試験的に導入したテレビ会議システム(本庁議場)



…賛成多数で可決
◎教育長の任命
…全員賛成で同意
・大橋 慶士氏(徳山)

人事案件

…賛成多数で可決

<3月定例会 議案審議の結果>

議案名	議員名	小	鈴	森	山	太	芹	中	根	野	坂	園
川根本町保育所条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準等を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律附則第14条に規定する経過措置に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町行政手続条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町営バス条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町介護保険条例の一部改正		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川根本町保育の実施に関する条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結(施業道ヒラト線開設工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度川根本町一般会計補正予算(第10号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度川根本町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度川根本町いよしの里診療所事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町一般会計予算		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町後期高齢者医療事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町介護保険事業特別会計予算		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町難易水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町温泉事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度川根本町いよしの里診療所事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育長の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度川根本町一般会計補正予算(第11号)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結(高度情報基盤整備工事)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ×=反対 ※議長は採決に加わりません。

◇ ◆ ◇ 2月臨時会で8議案を可決 ◇ ◆ ◇



2月12日に第1回臨時議会が開催され、3月末で指定管理期間が満了となる7つの公の施設の指定管理者の指定については、全て原案通り可決しました。

そのほか、ニュー久保山解体工事費などを含む一般会計補正予算(第9号)が提出され、26年度の一般会計予算総額84億1,059万3千円(4,899万1千円の増額)が原案通り可決されました。

公の施設の指定管理者一覧

施設名	指定管理者	指定の期間
奥大井もりのくに	(株)時之栖	H27.4.1~H32.3.31
くのわき親水公園キャンプ場	くのわき親水公園管理運営組合	H27.4.1~H30.3.31
三ツ星オートキャンプ場	特定非営利活動法人かわね来風	H27.4.1~H30.3.31
アプトいちしろキャンプ場	アプトいちしろキャンプ場管理運営組合	H27.4.1~H30.3.31
池ノ谷キャンプ場	池の谷観光農林漁業組合	H27.4.1~H30.3.31
八木キャンプ場	八木キャンプ場管理組合	H27.4.1~H30.3.31
接岨峡温泉休憩施設	接岨峡温泉会館(接岨区)	H27.4.1~H28.3.31



中澤 莊也 議員

問

- ◎保育所運営委員会の答申に対し町長は如何に考えるか
- ◎耕作放棄地にソーラーシェアリングを
- ◎おでかけ号の増車運行区域の見直しは

質問

子育てしやすい環境の整備、若者の定住促進①保育所運営委員会の答申に対する町の考え方は②若者等定住希望者に対する情報の提供、家賃援助、就業・就農支援、土地・建物等の斡旋、宅地造成計画は③宅地等確保に取り組み地縁団体等に対する支援は。

町長

①委員会の答申は意味があり、重いものと認識している。地名地区が中山間のモデル地区になり得るという思いを持っているので、十分地元の皆さんと検討を重ねながら、対応していきたい。②

平成26年度空き家実態調査実施。平成27年度所有者の意向調査を進め、空き家バンクへの登録を図っていく。行政が実施できない機能を補完するパートナーとの連携を視野に入れ、空き家対策だけでなく、

移住・定住の促進を図るため、情報発信、調整を行う団体等の構築を進めていきたい。現在のところ宅地造成に

質問

対する具体的な計画はもっていない。③支援等について、現時点では考えていないというのが現状である。

町長

耕作放棄地を増やさないための取り組み①耕作放棄地再生利用対策事業等の成果、課題、今後の取り組みは②ソーラーシェアリングに対する町の考え、取り組みは③農地法の規制緩和についての町の考えは

①平成21年度から平成25年度までの第一期、延べ20件、504haの再生利用が実施された。ほとんどが茶園の再生である。野菜、柑橘類、そば、葉草、ユウカリなどに再生された。平成26年度には実施なし。複合経営、

経営農地の拡大を考えた。多様な農業形態が実現できるよう、農協

質問

交通弱者等対策は①「お出かけ号」の増車、運行区域の見直し等の考えは②かわね

町長

①現在の利用状況においては、北部地区ともに増車が必要な状況にあるとは考えていない。②サービスを実施する場合、食品の販売事業者、宅配事業者などの体制確保が必要である。注文を取りまとめるシステムや代金回収方法も決めていかなければならない。これらの体制が整った後であれば、かわねフォンや今回整備するネットワークを利

用したサービスの提供の可能性はあると考える。



増車・運用区域の見直しを望む

答

- 答申は意味があり重いものと認識している
- まだ、ソーラーシェアリングを積極的に推進や推奨する段階ではない
- 増車必要な状況ではない区域の見直しは検討課題

問

◎主要な施策に対する町長の方針は
人口減少と地方創生、若者定住と働く場所
◎高度情報基盤整備事業について
見通し、町民への説明、同報無線の強化は



野口 直次 議員

質問 主要な施策に対する町長の方針①人口減少への対応と地方創生に対して②若者定住と働く場所の確保について③「高齢者支援」「介護保険制度」「生きがいづくり」に対する町の考えは

町長 ①国の総合戦略の策定に伴う交付金の決定を受け、プレミアム商品券発行事業を実施する。地方創生先行型として26年度補正予算で対応する。町創生総合戦略の策定作業を開始する。課長、職員及び住民代表に加え、産・官・学・金等の関係機関も含めた組織を立ち上げる。②移住、定住施策として、空き家対策に力を入れる。企業誘致等による雇用の創出も必要だが、町内の企業が元気になっていただき、若い方々が地元へ就職を希望する町づくりが理想だと

考える。高齢者施設を充実し、関連する雇用を増やしたい。ITを活用した企業誘致の可能性を含め検討していきたい。27年度第2次総合計画の中においても、若者定住のための魅力ある多様な誘致、宅地造成計画の実施には多額の支出が必要であり、設置予定箇所との調整が必要。③これから高齢者施策には積極的に取り組み、元気な高齢者の多い町となるように努める。

質問 高度情報基盤整備事業①事業の見通しと工事の遅れの原因は遅れが今後どのようなところに影響するのか②当初計画から27年にかけて、町民に対する事業説明は十分できているか③今後の活用ネットワーク最優先はどんなものを考えているのか④現在の同報無線よりも機能が充実さ

れ強化されるのか

町長 ①光エリア内は6月末、無線エリアは最終アクセス方法を光に変更しており10月下旬完成予定で、関連する工事も発生する。国庫交付金事業である契約済みの整備工事との一体性の施工の必要性だが、認められず別工事の発注となる。遅れは、これまで町が経験したことはないほどの大規模な事業で想定していた事業スケジュールが大幅に遅れてしまったことであり、反省し今後に生かしたい。②できたとところからデモンストレーションを含め町民の皆様に関し、参加していただく。それが説明責任でもある。③利活用委員会に町側の計画を明確に示し具体的な意見を伺いたい。

総務課長 ④屋外スピーカーについては、現



光ファイバ整備工事で建てられた支柱

状維持である。区長会、防災委員との会議で意見を伺い、聞こえにくい場所に設置してほしい要望があれば、総務課としては整備工事を今後検討する。

質問 2年程度の余裕を見ての大規模事業の設計施工工事をするべきではなかったのか。

町長 基本的に調査期間が短かった。大変専門分野で知識不足、認識不足等があったことを反省し、前向きに町民のニーズに答えられるように進める。

答

- 川根本町創生総合戦略の策定作業開始へ
- 第2次総合計画の中、若者定住、企業誘致を検討する。
- 追加工事（関連）も発生。今後は反省を踏まえ十分説明していく。屋外スピーカーは現状維持



鈴木多津枝 議員

問

- ◎告知端末機の全戸設置・無料加入のナゾ
- ◎度重なる追加工事で調査設計の疑問大
- ◎木質バイオマス発電で資源活用の検討を
- ◎学校給食費補助創設で子育て負担軽減を

質問 情報基盤整備事業について①毎年の支出見込みと10年間の推計。②町民の必要性、町の課題解決、財政状況に適正・有効か③告知端末機の全戸加入で毎年3千万円近い財政負担が発生した。IP電話は希望者だけ月5000円負担との説明だったがいつ町が負担することに変わったのか。

④追加工事が6月に3億円余、今回3500万円、更に7千万円、2億7千万円と示されている。調査設計業者は4千万円近い委託料で一体何を調べて設計したのか。

町長 ①27年度予算に設備光熱費、支障移転費、電柱共架料、占用料、電波利用料、土地借上料で1300万円、修繕費400万円、かわねフォン2800台の町負担金2900万円、行政情報配信78



徳山踏切横に建ったアンテナ(徳山)

0万円、動画編集104万円の計5484万円を計上。他に合併特例償還額9億8千万円の町負担3割分2億9400万円を15年で返済する1年分1960万円と、新たな利活用の整備費・維持管理費が必要になる。②全国的にも遅れている情報通信環境の整備と老朽化している同報無線を更新する最低限の整備。今後は町が抱える医療、防災、教育等の課題解決に向けた利活用を、費用対効果を図りながら慎重に進める。

③端末機で緊急情報を配信することから、当初から全戸へ電話機能付き端末の配備を想定して説明した。設置費用と月額基本料金は町

負担とし、IP電話については、当初は利用者

者に月5000円を負担して頂くと説明したが、8月の入札後、告知端末機が有効に活用できると全額町負担で全IP電話配備を9月議会

で報告した。④追加工事は補助対象事業と認められないJアラートとの接続や停電に備えた宅内バッテリーの配備で当初から別工事としていた。議会の承認を得て契約する。

質問 地域資源の有効活用で温泉施設などへの木質バイオマス発電の検討を。
町長 当町の資源である林地残材の活用は林業振興による雇用など波及効果は大きい

薪を生産し1㎡5千円で買い取って山主の収入や地域資源の有効利



RG授業の給食

用につなげている。本町でも製材所の必要性が高まれば薪ボイラーに木質バイオマスは有効で、再生エネルギーの推進に取り組んでいきたい。

質問 学校給食費を第2子半額、第3子以降無料とする補助制度を創設し子育てしやすい町づくりの推進を。
町長 現在の給食費は平成21年から据え置き昨年4月の消費税8%アップ時も引き上げ分を町費負担とした。軽減については給食費の見直し時に子育てしやすい町づくりという政

答

- 有効活用に向け入札後、町負担で全戸配備とした
- 補助対象外の工事で当初から別工事としていた
- 発電事業は難しいが木質バイオマスは推進したい
- 子育てしやすい町づくりの観点も含め深めたい

策的観点も含め、給食委員会、教育委員会、総合教育会議の中で深めたい。

◎人口減少と財政における今後の経営能力
について

問

◎長島ダムのさらなる展開は

◎交通危険箇所から要望する道路工事の
急務について



蘭田 靖邦 議員

質問 当町の財政状況は。

町長 平成25年度の町における実質赤字比率はマイナス11・4%連結実質赤字比率はマイナス13・9%とそれぞれ黒字経営で将来負担比率についてもマイナス37・1%であり財政が健全に運営されている。

質問 弾力性、經常収支比率の状況は。

町長 平成25年度で87%であり、かなり経常的な経費の率が高いと言わざるを得ないが合併後、平成18年には103・2%であり年々改善されている。

質問 人口減少からくる課題、町の対策、歳入を増やすための施策、新たな雇用を創出する手立ては。

町長 当地域の産業構造等、様々な要因はあるが、広域的対応を視野に置いた取り組みが

重要である。またストリー性を持った魅力ある観光地、ICTの一層の利活用の展開も必要である。

質問 一般財源の許容範囲で財政の力を使つた若者定住の方策は。

町長 個人的に感覚としてやりたい事業もある議会の中で議場で皆さんからの提言等があれば対応していく。

総務課長 財政担当の立場から平成32年迄の合併特例債起債可能額11億9千万程あります。が関連する事業であれば精査し財源を含めて考えていく。

質問 人口減少の鈍化と歯止めが根本にある地方創生総合戦略について。

企画課長 人口減少に歯止めをかけるためにも他市町村と違う町独自の特色のあるものを達成できるよう関係機関のメンバーによる組

織の立ち上げも予定していき具体的な戦略を策定していく。

質問 町にあるものの再点検、長島ダムも含めアイデアを広く募集する提案箱の設置を。

町長 町民からの意見提言、職員からの提案等、窓口を開けて意見を聞くようにしている。何回かアンケート等もとって対応している。

ご意見箱のものをと、言う話ですが検討をする。

質問 長島ダムの競技場と大村朱澄さんについて。

生涯学習課長 平成27年度において川根本町カヌー普及協議会の設立を予定している。大村さんの個人的な行動の範囲の中で協力頂けるようアプローチしていく。

町長 カヌーに対して思い入れは、やはりある。ある程度のこと迄

は、できるという思いもあり、これから長島ダムを利用した中では必要な事だ。大村朱澄さんには町の目玉的な位置づけで頑張ってもらいたい。

質問 国道362号改良改築における交差点の危険度について。

町長 一つの町で3箇所国道事業としての予算づけがされない事からクランクが、できる事となり、この様な形状は決して安全とは言えない上長尾区迄の全線開通を今迄以上に要望していく。

質問 町道高郷田野口停車場線の今後について。

建設課長 当初から上長尾バイパス、国道バイパスという扱いで長尾川の新橋のためのボーリングも実施しておりルート検討も数案あるようですが、確認はしていない。

答

- 財政規模に見合った財政運営を心がける
- 地域の活性化に重要な役割を果たす資源
- 交通の安全が早期に確保できるよう国、県へ要望していく

～ 議会活動報告 ～

小学校のRG授業見学・町内企業訪問

暮らしやすいまちづくりのための施策を考えていく上で、まず議会として町の現状や課題を知ることはとても大切なことです。そのため、町議会では議員の町内視察を随時行い、町の課題等を議員が共有し、議会活動に生かしていくよう努めています。今号では2月に行った二つの町内視察について報告します。



RG授業「体育」の見学

RG授業（学校間連携グループ授業）の見学

日時：2月18日 場所：中川根第一小

人口減少の中で川根本町は各小学校の児童・生徒数の減少によるさまざまな不安がある中で町の「子供は町の宝物」「教職員は町の財産」を理念とし、町教育委員会では小規模校の良さを生かし、町の財産を生かし小中6校を緩やかなひとつの学校と捉えて、「学力向上」「生きる力の育成」を図ろうというキャリア教育を基盤とした学校間連携授業を試行しています。その様子を見学しました。

小学校4校の生徒は1年生（算数）40人に教員6人、5年生（外国語）36人に教員6人、6年生（体育）38人に教員2人のグループ配置でした。各校生徒は普段の4倍もの人数の中での試行2回目の授業に戸惑いも感じられましたが、回数を重ねると慣れて来るものと思えます。40人学級になっても児童数6人程度当たり教員1人と恵まれた状況でした。

27年度からの能力や態度を育てることを基盤とした学校間の連携授業は子供や教職員の交流の中で子供たちの学力向上や人間性が向上されるものと期待されます。



学校間交流により児童の学力や人間性の向上も期待される(中川根第一小学校)

(小藪侃一郎)

町内企業訪問（ケーブルテクニカ㈱）の見学

日時：2月26日 場所：中川根工場

2月26日ケーブルテクニカ㈱中川根工場の視察を議員10名でさせて頂きました。石田社長はじめ、担当部長の案内で工場内の見学、説明を受けました。

当地域で最も規模の大きい会社であり、従業員の数も協力会社を含め460名（うち外国人62名）以上の人が働いています。町内からは370名近い人が雇用されており、大変地域に貢献されている企業であることを感じました。

各種センサー、メーターなど自動車関連部品が製造されており、大きな工場の中に機械が整然と並べられロボットによる自動生産が行なわれていました。また、環境方針、理念、指針に基づき工場排水の管理、測定



分別、再利用など自然環境に配慮した取り組みがされている(ケーブルテクニカ中川根工場)

(坂本 政司)

議 会 日 誌

1月

- 11日 消防団出初式・成人式
- 13日 南アルプスエコパーク
拠点整備としての勉強会
- 19日 県地方議会議長連絡協議会
第2回政策研修会
- 22日 町商工会賀詞交歓会
- 27日 平成26年度北方領土返還要求
静岡県民大会



当町で開催された北方領土返還要求
静岡県民大会（1/27 文化会館）

2月



第1回3町議会議員研修会
(2/2 写真は第3分科会代表議員による発表・文化会館)

- 2日 3町議会議員研修会
(吉田町・森町・川根本町)
- 12日 平成27年第1回臨時議会
- 12日 議員学校訪問(中川根第一小学校)
- 23日 生涯学習のつどい
- 26日 町内企業訪問
(ケーブルテクニカ(株)中川根工場・徳山)

3月

- 3日 平成27年第1回定例会・本会議(初日)
- 5日~12日 予算特別委員会
- 14日 第10回川根本町茶業者大会
- 18日 平成27年第1回定例会・本会議(最終日)
- 19日~20日 町内小中学校卒業式



「京都おぶぶ茶苑」喜多代表の講演
(3/14 茶業者大会・文化会館)

◆ 6月定例会の日程 ◆

6/ 5日	金	9:00~	議会運営委員会
12日	金	9:00~	本会議(定例会・初日)
		本会議終了後	全員協議会
16日	火	9:00~	本会議(第2日目)
		本会議終了後	議会運営委員会
26日	金	9:00~	本会議(定例会・最終日)

○会議会場は役場本庁3階です。
○日程は変更することもありますので、詳しくは
議会事務局(☎56-2229)までお問い合わせください

**議会はどなたでも傍聴できます。
ぜひ傍聴にお出かけください。**

編集後記

私はこの春入学した
新一年生と同じ編集委
員、新米で会合のたび
戸惑っています。
年度初めの今号は27
年度予算をはじめ、R
G授業視察、企業訪問
など掲載しています。
読みやすく親しめるよ
う委員一同研修を重ね
誌面の刷新に取り組み
ました。議会だよりが
少しでも町民の皆様
にも興味を持って頂け
る

委員長 中澤 庄也
副委員長 芹澤 廣行
委員 中田 隆幸
委員 根岸 英一
委員 野口 直次
委員 坂本 政司

編集委員
(第一常任委員会)
後に参加していきたい
です。(N・N)

ように、他の委員に少
しでも近づけるよう努
力していきます。

※「議会だより」は再生紙を使用しています